

総務省「放送業界に係るプラットフォームの在り方に関するタスクフォース」

第1回会合 民放連コメント

- ・ 本タスクフォースに民放連がオブザーバとして参画するにあたり、私どもの考えをご説明いたします。
- ・ 本タスクフォースが属する「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」では、下部組織の公共放送ワーキンググループにおいて、NHKインターネット活用業務の在り方という、まったく別のテーマについて既に議論が行われております。民放連はこの問題について、4月に「見解と質問」を提出し、6月7日のヒアリングでは、NHKのご説明に対する意見を述べ、あわせて構成員からのご質問にもお答えしました。同ワーキンググループは検討の途上であり、民放連はNHKのインターネット活用業務について、必須業務化やそれを前提とした議論を容認したわけではありませんので、あらためて申し述べます。
- ・ そのヒアリングの際にも申し上げましたが、NHKではBS同時配信の予算問題が明らかになり、国会の衆参両院で質疑が行われました。NHKも認めているとおり、これはガバナンス・内部統制上の重大な問題であり、NHKの信頼を揺るがしかねない深刻な事態だと考えます。NHKは再発防止策を講じるとともに、「受信料・業務・ガバナンス」の三位一体改革を、まず確実に進めるべきと考えます。
- ・ NHKのガバナンスが問われるなかで、民放事業者の間では、本タスクフォースの設置でNHKと民放の協力関係に焦点を当てるのが、NHKネット配信の必須業務化の議論に影響を及ぼしかねないとの懸念が広がりました。民放各社にはオブザーバ参加に懐疑的もしくは消極的な見方が少なくありませんが、議論を経て参加することで意見の一致をみました。NHKとの協力は放送事業の将来にかかわる重要なテーマだけに、オブザーバとして必要な意見を述べるのが望ましいとの考えであり、必須業務化の議論とはまったく別の課題であるというのが私どもの考えです。
- ・ 次に、本タスクフォースの検討項目と進め方について、ひと言申しあげます。
- ・ 民放とNHKとの共同事業においては、当事者である民放とNHKとの間でしっかりと協力の在り方を検討し、合意形成することが何よりも重要です。検討項目の1点目の地上波中継局については、経済合理性の確保と地域事情への配慮が大前提です。当事者間の検討を見守りながら、そのニーズに合致した環境整備をしていただければと思います。
- ・ また、3点目のインターネット配信については、当事者である民放事業者において、

個別企業の経営判断の領域に属するものであり、ニーズや実現可能性に強い疑念を持つとの意見が大勢です。放送と異なるネット上のプラットフォームの在り方はこの場の議論になじまないと感じております。

- ・ 放送分野におけるNHKの民放に対する協力努力義務は、放送法にすでに規定されたものです。NHKと民放の協力の在り方については、本日のタスクフォースの議論をお聞きしたうえで、後日、あらためて意見を述べる機会をいただきたいと思います。

以 上